

議会

だより

118

3月定例議会号

令和元年5月

発行 佐呂間町議会



佐呂間小学校入学式 平成31年4月8日撮影

3月第1回定例会

- ・審議した議案 2P
- ・町長行政報告 5P
- ・特集 まちの予算を見る 平成31年度当初予算 6P
- ・一般質問「職員の人事体制について」など 11P

議会ニュース 委員会レポート 15P

みんなの笑顔で町を元気に！ / 議員のひと言 16P



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第1回定例会

・町長行政報告

■都農町からのふるさと応援寄附金
 去る2月7日、本町と経済交流都市であります宮崎県都農町から河野町長及び稲山副議長が来町され、今年度の都農町のふるさと納税収益から本町に対し7500万円の寄附金の申し入れがありました。

この申し入れの趣旨は、都農町のふるさと納税返礼品には昨年10月末まで本町の事業所が取り扱うホタテ、鮭、イクラなどの本町特産品を活用していたことから、昨年一定期間に本町特産の返礼品に寄せられた寄附金の収益分を、今後の両町の交流推進事業に活用していただきたいとのことです。

都農町とは平成26年6月の経済交流提携後、道の駅における物産交流や観光物産協会

■北海道胆振東部地震被災地支援として2回目の職員派遣
 昨年9月6日に発生した北



両町の交流進展に期待（昨年の都農産業まつりの様子）

■オホーツクサイクリングの終了
 昭和57年に始まった、雄武町から佐呂間町を通過して斜里町までのオホーツク沿岸、最長200キロ余りを自転車で行き抜ける「インターナショナルオホーツクサイクリング」は2月25日に開催された実行



今年が最後の大会となるオホーツクサイクリング

第1回定例会

・審議した議案③



若里活性化センター

■若里活性化センターに係る指定管理者の指定
 若里活性化センターの指定管理者として、若里自治会を指定した期間が平成31年3月31日で終了することから、引き続き若里自治会を指定管理者とすることを決定しました。

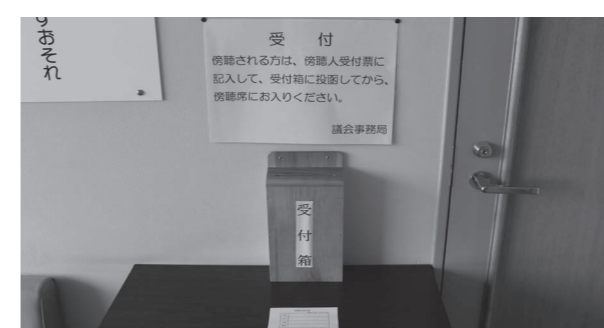
管理を行わせる施設
 若里活性化センター
 指定する指定管理者
 若里自治会
 自治会長 田中 剛
 管理を行わせる期間
 平成31年4月1日から
 令和11年3月31日



漁村環境改善総合センター

■漁村環境改善総合センターに係る指定管理者の指定
 漁村環境改善総合センターの指定管理者として、佐呂間漁業協同組合を指定した期間が平成31年3月31日で終了することから、引き続き佐呂間漁業協同組合を指定管理者とすることを決定しました。

管理を行わせる施設
 漁村環境改善総合センター
 指定する指定管理者
 佐呂間町漁業協同組合
 代表理事組合長 阿部 興志輝
 管理を行わせる期間
 平成31年4月1日から
 令和元年6月30日



議会傍聴の受付方法が変わりました

■町議会傍聴規則及び町議会委員会傍聴規則の一部を改正する規則制定
 町議会傍聴規則及び町議会委員会傍聴規則について、個人情報保護の観点から改正を行うものです。

これまで傍聴者は全員同一の受付簿へ必要事項を記入していましたが、この改正により個別の受付票に必要事項を記載し、受付箱に投函する方法に変更になり、個人情報報が他の傍聴者の目に触れないようになります。

第2回定例会は6月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報6月号の折込みチラシをご覧ください。ぜひ傍聴にお越しください。

ことしの主な事業

昨年に引き続き公営施設の改修・設備更新が中心
一般会計は前年度比2.1% 1億468万円の減額



修繕工事が行われる大成6線橋

- ◎事業内容
- 橋梁点検 23橋
 - 補修設計 3橋
 - 修繕工事 大成6線橋

橋梁の長寿命化
6180万円

橋梁については、長寿命化計画策定及び5年に一度の点検の義務化による適正な維持管理のため、町が管理する116橋の点検・調査を年次計画で行っています。

平成31年度は長寿命化修繕事業として、23橋の点検及び3橋の補修設計を行い、その内1橋の補修を実施します。



今年度工事が実施される15～17号棟

- ◎事業内容
- 西富団地15・16号棟 外壁・サッシ等改修及び屋根塗装
 - 西富団地17号棟 屋根塗装

西富団地の外壁改修
6578万円

西富団地の外壁を改修し、断熱性能の向上と施設の長寿命化を図ります。

平成26年度からの継続事業でしたが、本年度で全ての棟の工事が完了します。



建設後40年が経過する浜佐呂間小学校

- ◎事業内容
- 浜佐呂間小学校 校舎外壁改修及び窓サッシ等の防水施工

浜佐呂間小の外壁改修
2817万円

昭和53年に建設された浜佐呂間小学校は、平成11年に校舎外壁の塗装を行いました。それから20年が経過し、経年劣化による外壁のはがれや腐食が見られることから、施設の長寿命化及び安全・安心な施設の提供を図るため、外壁改修工事を実施します。

- ◎その他の主な事業
- 浜佐呂間活性化センター改修工事 893万円
 - 遠軽地区地域医療対策連携負担金 1883万円
 - 遠軽地区広域組合負担金 2823万円
 - 道営畑地帯総合整備事業(若佐地区) 2508万円
 - 浄水場設備、送配水管敷設 1億2769万円
 - 漁港修築事業地元負担金 1594万円
 - 浜佐呂間漁港の維持保全等 1290万円
 - 舗装路面性状調査事業 2508万円
 - ICT教育環境整備事業 若佐小学校及び浜佐呂間小学校のICT環境を整備

特集 まちの予算をみる

平成31年度 当初予算

予算特別委員会を開催 3月8日(日)

予算特別委員会委員長報告(要旨)

平成31年第一回定例会において、次の当初予算が提案されました。

- 平成31年度一般会計予算
- 平成31年度簡易水道特別会計予算
- 平成31年度国民健康保険特別会計予算
- 平成31年度公共下水道特別会計予算
- 平成31年度介護保険特別会計予算
- 平成31年度介護サービス事業特別会計予算
- 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算

提案された各会計予算について、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、付託して審議を行うことを決め、8日に開催された特別委員会では委員長に船木委員、副委員長に土田委員を選任し、11日に集中審議を行った結果、原案可決としました。

その後、13日の本会議において、船木委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決いたしました。

平成31年度予算について、最小の経費で最大の効果が図られる施策・事業となっているか、前年度決算の意見が反映されているかなどに重点をおき、審査を行いました。

歳入については予算の43%を占める地方交付税が6年ぶりに増額、自主財源の町税は前年度から微減となっており、収支のバランスは各種基金の繰り入れにより図られています。

歳出については新たな行政課題も考慮し、事業の必要性・妥当性に十分な配慮がなされています。

地方が自らの判断と責任において課題に取り組み、地域の暮らしや住民の営みを豊かにすることは当然ですが、緊急性・将来性・効率性などの精査を行い、安定的な財政運営と安全で安心な町づくりを願うものであります。

平成31年度 各会計当初予算

会計区分	31年度当初予算	30年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	49億3218万円	50億3687万円	▲1億468万円	▲2.1%	
特別会計	簡易水道	4億6585万円	3億2895万円	1億3690万円	41.6%
	国民健康保険	8億2716万円	8億4498万円	▲1782万円	▲2.1%
	公共下水道	2億2533万円	2億3865万円	▲1332万円	▲5.6%
	介護保険	5億2621万円	5億2675万円	▲54万円	▲0.1%
	介護サービス事業	2億6236万円	2億5821万円	415万円	1.6%
	後期高齢者医療	9194万円	8845万円	348万円	3.9%
合計	73億3103万円	73億2286万円	817万円	0.1%	

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

3月11日に開催した予算特別委員会で、平成31年度予算に関する質疑が行われました。

(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

平成31年度予算の
使い道を徹底審議!

予算特別委員会質疑の中から

総務費

ルートイン
ホテルの再開

但木 予算総体として質問するが、ルートインの再開について町としていつまで待つのか。

ルートインから具体的な時期などが示されていない場合、町としては方向性の決断をしなければならぬと考えていますか。

町長 ルートインの再開について何時まで待つのかという点ですが、再開まで未永劫待つ予定です。

ホテルはルートインの財産であり、民間企業の経営に関する事なので、町から早期再開を要望するのは難しく、町が要望して再開する場合、財政負担が発生する恐れがあります。

3月6日に行われた一般質問で2名の議員からルートイン



再開が待たれるルートイン・グランティアサロマ湖

ンに関連する質問があり、それまでの経過を答弁でお伝えしましたが、その後ついでの間ですが、ルートインからもう一度、ビジネススタイルで再開したいとの話がありましたので、正式な通知がありましたら改めてお話をさせていただきます。

役場庁舎の
清掃と除雪

佐藤 庁舎維持管理に要する経費に、清掃等委託料と庁舎除雪委託料が新たに計上されているが説明をお願いします。

総務課長 役場の清掃等を担当している嘱託公務補1名を、平成31年度から減員するため清掃業務を委託し、毎週土曜日に業者による清掃を行います。

また、嘱託公務補が行っていた庁舎周辺の除雪についても、一部を業務委託いたします。

商工費

さろまちこん
の効果

佐藤 さろまちこん開催補助金として40万円が引き続き計上されているが、効果について伺います。

経済課長 さろまちこんで知り合われたカップルが、昨年1組ご成婚されたと聞いています。

キムアネツプ
キャンプ場の整備

小松 観光施設の管理運営に要する経費の中で、観光施設の雑草の下刈り委託を行っているが、昨年キムアネツプキャンプ場の雑草がひどい状態だったので、抜き取りによる整備を行ってはどうか。

経済課長 雑草の抜き取りについてはこれまで実施しておりませんが、網走国定公園管理事務所と協議して許可が得られれば、平成31年度予算で実施したいと思えます。

小松 インターネットでキャンプ場の利用者の感想を見ると、蚊が多くキャンプが出来る状態ではないとの書き込みがあったが、雑草の駆除により蚊の発生も抑えられると思う

が、どのように考えていますか。

副町長 サンゴソウの雑草駆除に関して大学教授などに相談して、現在はロータリーを入れる方法を実施しています。サンゴソウ自体が無くなってしまう恐れがあり、難しいと聞いております。

消防費

消防団の状況

加賀屋 私設消防団及び消防団の人数は把握していますか。

町長 現在、消防団の団員数は118人で、その内訳として第1分団(佐呂間)が44人、第2分団(浜佐呂間)が25人、第3分団(若佐)が33人、女性消防団が12人、その他団長と副団長が本部に4人となっています。

また主に第1分団にですが、町職員が18人、農協職員が5人、商工会職員が1人、社会福祉協議会職員が1人の合計25人が入っています。

私設消防団については、平成30年4月の人数ですが、富士が23人、仁倉が18人となっています。

副町長 消防団員の報酬ですが、ます団長、分団長、団員などそれぞれの役職に応じた年額報酬があります。

その他様々な出勤に際して支払われる費用弁償があり、災害の場合は1回の出勤に対して7千円が支払われます。

教育費

図書館司書の派遣

但木 平成29年度に浜佐呂間小学校をモデル校として図書館司書を派遣しているが、今年度はどうなっているか。

また、図書館司書を派遣してどのような効果があったのでしょうか。

教育長 平成29年度に浜佐呂間小学校に派遣しましたが、今年度は佐呂間中学校に派遣し、中学校からは新刊図書は配置や、本を借りやすい環境作りが効果があったと報告を受けています。

平成31年度については今後学校と打ち合わせを行い、派遣先を協議いたします。

歳入

町民税の増減要因

小松 前年度と比べ個人町民税が増額となり、法人町民税が減額となっており、このように予算計上した要因はどのように考えていますか。

企画財政課長 個人町民税は平成30年度総所得の課税実績と比較して6.7%の減と見込み、そこに収納を見込める率として96%を乗じて計算しています。

法人町民税は過去5年間の実績に、近年の経済の動向を示す経済情勢率を見ていますが、これが若干上昇すると考え、そこに収納を見込める率として96%を乗じて計算しています。

副町長 個人町民税の減額については、予算を作成する際に漁組や農協にその年の所得の状況を確認しており、漁業所得については今年はガンガウが3年貝の出荷であったため減少し、農業所得は酪農は横ばいですが、畑作がここ数年



町民の生命・財産を守るため活動する消防団

加賀屋 消防団の報酬は遠軽地区3町で共通だと思いが、災害時にはどの位の額が支払われていますか。

第1回定例会

4名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

一般質問



佐藤 昭男 議員

職員の人事体制について

【質問】
本町は現在職員定数以下の人数で行政運営を行っていますが、今後定年による退職者が増加する中で、職員の配置や体制、動向をどのように考えているか伺います。

【答弁】（町長）
本町の職員定数条例で定めている定数につきましては、総数で145名となっておりますが、平成31年4月1日見込みの職員数は109名で、条例定数と比較した場合36名の減となっております。

本町では定員管理適正化計画を定めています。平成27年度から始まった第3次計画も平成31年度が最終年度となり、平成31年度中には第4次計画を策定する予定です。

**職員が定数に満たない状況で退職者が増加
今後の職員の配置・体制・動向は
町長：第4次定員管理適正化計画を策定
簡素で効率的な体制を構築する**

また、職員の年齢構成では行政改革に伴う職員削減により、新規採用を抑制していたことから、30歳代の職員が非常に少ない状況にあります。いずれにしても大幅な職員数の変動が見込まれるなか、町民の多様な行政ニーズに的確に対応できる簡素で効率的な行政体制の構築に努めてまいります。

【質問】
第4次計画に向けた職員の雇用の関係で、障がい者雇用や退職者の再任用制度などの雇用体系があるかと思えます。

今後最少の経費で最大の効果を上げられるよう考えていきたいと思いますが、考えを伺います。



多様な住民ニーズに対応できる職員体制が求められる

【答弁】（総務課長）
第4次計画に盛り込まれる平成32年から平成36年度までの5年間で、定年退職を迎える職員が24名いますが、現在の定年の65歳への延長というところが取り沙汰されており、これには2021年から3年ごとに定年を1歳ずつ延長し、

「会計年度任用職員制度」
令和2年4月1日から地方公共団体の特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件を厳格化する制度。
会計年度任用職員には地方公務員法上、一般職に適用される各規定が適用されるため、地方公共団体は臨時・非常勤職員制度の運用を本格的に見直す必要がある。

【答弁】（副町長）
第4次計画については昨年から少しずつ検討を始めており、来年中に新たな職員定数をお示しできるかと考えています。

実際には会計年度任用職員制度が来年4月から導入され、そこに対応した職員定数の管理をしていかなければならないので、来年の4月1日に合せて、職員定数を新たに見直していきたいと考えています。

第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

国民健康保険

年の天候不順により減少しています。
これら平成30年収入は減少するとの情報を元に予算としてどうするか考えています。
法人町民税については今、法人の活動が活発で、様々な職種で所得の申告額が多くなっており、好調な1次産業を受けて土建・建築業や水産加工業などの法人の所得が増えていると分析しています。

国保税率の今後

但木 平成30年度から国保事業が都道府県化したことに対する国保税の激変緩和措置が、前年度から大きく減額になったが国保税への影響はどの程度と予想しているか、今の段階で分かる範囲で良いので伺います。

町民課長 平成30年度は国費による激変緩和措置が約700万円ありましたが、平成31年度については約60万円程度しかありません。今までは前年度繰越金で会

計が成り立っていました。平成31年度予算は前年度繰越金も少ないため、基金や一般会計から繰り入れを行い、国保税も若干税率を上げて計上しております。

副町長 国保事業が都道府県化した際に、各市町村で異なっている国保税率については激変緩和措置により6年間で標準税率に持っていくというのがルールです。

一般会計から繰り入れを行えるのもこの期間だけなので、税率については北海道と相談をしていますが、当町の税率は全道的にかなり低いので、今後は今ある基金を少しずつ繰り入れながら、国保税率を少しずつ引き上げていくしかないのが現状です。

国保税収納率 向上の取組

佐藤 国保税の収納率向上に向けて、新しい取組を何か考えていますか。

徴収対策室長 基本的に新しい取り組みはございませんが、現年度分から徴収して新しい滞納を増やさないようにしているほか、払えるのに払わない滞納者については、法

介護サービス

に則った強制執行による様な差し押さえの方法を模索しています。

副町長 現年度分の収納率は平成28年が99.09%ですが、平成29年は99.27%と対策により収納率を上げています。

当町の収納率は全道に誇れる数字であり、現年度分の収納率を上げる対策を今後も取り組みたいと考えています。

老人ホームの民営化

但木 町長は平成30年第4回定例会で、特別養護老人ホームは社会福祉法人等に運営を担ってもらうことが有効で、平成31年3月までに法人の募集、働きかけを判断すると発言されたが、3月になり新年度予算は町営として計上されているが今後どうなるのでしょうか。

副町長 特養の引き受け手を探すため、管内及び旭川や札幌の比較的大きな社会福祉法人へ要請を行いました。全国的な介護士不足のため引き



介護士不足により民営化を模索している特養・愛の園

受けてくれる法人が無いのが現状です。

しかしこの介護士不足には町単独では対応できないため、引き受け手の募集は継続し、それまでの間は町立で運営していきます。

なお、引き受け手については社会福祉法人を第一に考えていますが、見つからなければ公立の指定管理者制度の中で、株式会社など営利法人についても検討しなければならぬと考えています。

町長 皆さんに3月末で取り組むとお話させていただいたが、手探りの状態で道内を探しており、多少の時間をいただきたくご理解願います。

第1回定例会

・一般質問③

第1回定例会

・一般質問②



山内一弘 議員

幌岩山周辺の観光スポットの再開発について

【質問】

再開するとの話だったルーティンがまだ兆しも見られない状況の中、近接する悠林館及び道の駅の集客利用状況、今後の展望を伺います。

【答弁】(町長)

利用状況ですが、悠林館は直近の平成29年は3605人で本年度も同程度の利用が見込まれています。

道の駅は直近の平成29年は20万1580人で本年度も20万人前後が見込まれると報告を受けています。

今後とも観光事業者との協力のもと、道の駅やキムアネップ岬を中心とした観光客の集客増に努めるとともに、道内外の物産展への出店によ

サロマ湖と幌岩山を活かした観光振興
ロープウエーを敷設しては

町長：網走国定公園内での開発は難しい
第1次産業の力借り観光客の増を

るPRやサポーターズ倶楽部会員の増加を図りつつ、交流人口の増加を図っていくことを考えています。

【質問】

サロマ湖と幌岩山をスポットとする、自然環境を最大限に活かした観光振興の展開が求められます。

遠く知床連山を遠望できる幌岩山は日本に誇れるものですが、道の駅から幌岩山の展望台への「空中散歩」と称してロープウエーを敷設し、多くの人が楽しめる大胆な発想が必要と考えますが、町長の考えを伺います。

【答弁】(町長)

今から35年前にも開発計画があり、展望台への入り込み



幌岩山・サロマ湖展望台を活用した観光振興は

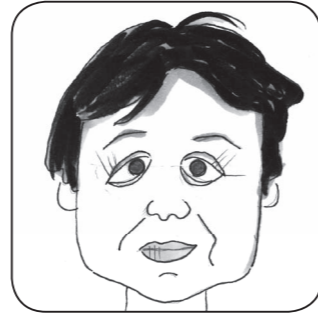
【質問】 第1次産業が堅調な今、もう一つ町の力強い柱に観光産業の強化が急務であり、そのためにはやはり目玉になるものが不可欠と思われれます。町の人口は20年もすれば3千人を切ると予測されています。

佐呂間から集立った人々、また佐呂間に関心のある人々にもふるさとづくり、まちづくりの参加協力を積極的に働きかけ、活性化を推進する夢と希望にあふれた町づくりこそが今町民から求められていると考えますが、町長の考えを伺います。

【答弁】(町長)

産業振興の部分では今一番町に必要なのは雇用の確保であり、雇用者をしっかりと確保するのが私の役目だと思っています。

観光については町の良さをしっかりと見据えて、佐呂間に来ていただくことに力を入れたいと考えており、これには第1次産業の皆さんの力が重要だということで、協働の力でこれからの観光、人口の減を補っていききたいと考えています。



但木早苗 議員

平成31年度町政執行方針を受けて

【質問】

町長は3期目の所信表明で4つの目標と31項目を示し町政運営を行い、高齢者福祉住宅の整備や子供医療費無料化も高校卒業まで拡大するなど積極的に取り組まれました。

1期目は土づくりと種まき、2期目は芽を出し幹が育つ、そして3期目は飛躍という花を咲かせることが使命と考えているとのことですが、この31年度、特に重点と考える施策についてお伺いいたします。

【答弁】(町長)

町に限らず今都市も地方も少子高齢化による人口減少や公共インフラ等の老朽化、財政対策等自治体のかじ取りは厳しさを非常に増している

今年度は町長3期目のまとめの1年
特に重点と考える施策は

町長：今年取り組みたいことを
4つにまとめた

【質問】

今年度は4つのことにぜひ取り組みたいということで、1つ目が「第1次産業の再興と振興」で、再興とは4年前のしけでホタテが埋まり昨年まで8割操業でしたが、今年から100%とれる事になったこと、振興とは農林水産商工業全般が温暖化や異常気象の中でも、順調に実績を上げてきており、ここをしっかりと助長・協力体制を組んでいききたいということですが、

2つ目が「町民の健康づくり」で、現在遂行中の第2次健康づくり行動計画の充実、健康増進対策の推進をしていきます。

3つ目が「教育の推進」で、保護者や地域住民の参画しや

平成31年度教育行政
推進方針を受けて

【質問】

平成31年度新たな取組として佐呂間町小学生学習サポート事業を試行的に実施するとありましたが、その事業内容、また開始時期、どの位の期間をめどにと考えているかお伺いします。

【答弁】(教育長)

これまでも各小学校では、長期休業期間中に教職員や町内の高校生等の協力を得て学習会を実施していますが、これを土曜日に試行的に実施するものです。

実施方法については、各学校の参加希望児童が勉強したい教科書などを持参し、同じ会場に集まり、概ね午前中を利用して実施することで進めています。

児童の知りたい、理解を深めたいという時に備え、先生を2名程度配置し、月1回程度、土曜日の午前中から始めていきたいと考えています。

ただスタッフの確保の問題など検証しなくてはならない事項も多く、試行期間を示すのは難しいですが、非公式ではありますが高校から生徒の事業参加の回答も得ており、関係する皆さんと協議し、小学生支援事業として佐呂間バージョンをつくり上げていきたいとも考えています。



第1回定例会

・一般質問④

議会ニュース

・委員会レポート



船木 司 議員

TPPとEPA発効後の町産業への影響について

【質問】 TPPとEPAの発効後、一番影響がある農業へのバックアップ体制は十分取られているかお伺いします。

【答弁】(町長)

昨年12月30日に11カ国によるTPP11が発効され、日欧EPAは本年2月1日に発効となりました。

この2協定は関税撤廃や削減によって物の動きを活発化させ、市場開放の結果、価格は値下がりし、一般家庭には恩恵が見込まれますが、基幹産業である農業においては、安い輸入農畜産物が段階的に市場開放され、競争が今後待ち受けていて、その影響が懸念されています。

TPP!!日欧EPAが発効 町産業へのバックアップ体制は

町長：…生産者の不安を払拭するよう注視していく

道では昨年TPP及びEPAによる、北海道の農林水産物重要品目の生産額への影響について試算しており、TPPでは農畜産物の減少は293億円から470億円とされており、EPAでは198億円から299億円が見込まれています。

この試算の結果、道では生産額の減少が生じるが、国内による国内対策により引き続き生産や農林漁業者の所得が確保され、国内生産が維持される見込みであるとの報告がされています。

政府は農業の体質強化や経営安定を図るため補正予算に3170億円を計上し、牛舎の建て替えや搾乳ロボット、

機械リース等の導入などを補助する畜産クラスター事業の支援を実施してきました。

その成果もあり、平成30年度の町内生乳生産は計画通り4万5700トンをクリアし、乳価も8年連続で値上がりしている状況です。

畑作関係では平成31年度産経営所得安定対策の小麦の交付金単価が50円引き上げられ、ヒートも調整金が210円引き上げとの回答がされています。

農業団体においても大きな影響が懸念され、長期にわたる実態把握、分析により影響が大きくなる前に必要な対策が求められているということ、地域の生産者の不安を払拭し、将来の北海道農業を見据え、希望を持って経営に取り組めるよう注視してまいります。

ルートイン再開の見込みについて

【質問】 ルートインの再開見通しはどのようになっているかお伺いします。

【答弁】(町長)

ルートインにつきましては、平成20年に夏のみ営業する申し入れがあり、平成27年夏の営業を最後に休館状態となっていました。早期の再開を目指し改修工事を進めていたものの、次々と新たな支障箇所が見つかり、工事箇所が増えたことにより、施工業者の確保が難しくなり、平成30年度中の再開は見送る判断がなされました。

ルートイングループの意向としては、さらに大きな改修に切り替えて、ホテルのグレードを上げた上で再開したいと伺っています。

町の施設の浄化槽を無償で譲渡し改修費の全額助成を行い、再開に向けていっそも稼働できる状態になっていますが、現状では具体的なホテルの再開の見通しについて示されていない状況にあります。

委員会レポート

総務福祉 常任委員会

■2月19日

◎所管事務調査

- ①職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
②北海道市町村総合事務組合規約の制定並びに廃止に係る専決処分について
③防災行政無線整備事業
④パソコンOS等更新事業
⑤公用車車両購入事業

第1回定例会に向け、平成31年度の主要事業を中心に調査を実施しました。

- ④民有林補助事業
⑤町有林(造林・保育・素材生産)

他13件

第1回定例会に向け、平成31年度の主要事業を中心に調査を実施しました。

議会運営委員会

■3月5日

◎第1回定例会運営について

- ①一般質問の提出状況及び概要説明
②議案等の提出状況及び概要説明
③議案等の取扱い
④会期及び議事日程
⑤その他

■3月11日

◎第1回定例会運営について

- ①追加議案等の提出状況及び概要説明
②議案等の取扱い
③議事日程
④その他

産業文教 常任委員会

■2月18日

◎所管事務調査

- ①平成31年度道営土地改良事業
②多面的機能支払交付金事業
③新規就農予定者就農研修支援資金貸付金

議会活性化等 特別委員会

■2月28日・4月9日・4月16日

◎所管事務調査

- ①平成31年度議会懇談会
②その他

平成31年4月19日に仁倉公民館及び佐呂間コミセンで開催された議会懇談会について協議を行いました。

議会広報 特別委員会

■3月13日・4月16日

◎所管事務調査

- ①議会だより118号の発行記事掲載内容及び業務分担の協議と編集作業を行いました。

町立診療所に 関する特別委員会

■2月28日

◎所管事務調査

- ①平成30年度クリニックさろま収支決算見込み
②平成30年度クリニックさろま患者数の推移
③その他

町から平成30年度のクリニックさろま収支決算見込み及び患者数の推移等について報告を受けました。

全員協議会

■2月28日

◎協議事項

- ①遠軽厚生病院への財政支援
②「標準」町村議会傍聴規則等改正
③その他

遠軽厚生病院に対する平成31年度からの財政支援に関する説明を町から受けたほか、町議会傍聴に関する規則の改正について協議を行いました。



みんなの笑顔で まちを元気に！ Vol. 21

「フラの会」

町で輝いている人たちを紹介します



私たちフラの会は、遠軽を拠点に活躍される上田純子先生のもと、月3回町民センターで練習を重ねています。

昨年7月にはサロマフラの会発足10周年記念発表会を行いました。

普段は文化祭とふれあいステージに向けての練習を行い、合間に紋別の港まつりで踊り、隣の敬老会で踊り、勿論町内施設の慰問で踊り、多方面から声を掛けていただき仲間と支え合い、鼓舞し合いながら「次の興業は〇月〇日だよ」と楽しい時間を過ごしています。

平均年齢は上昇中ですが、色鮮やかなドレスを身に纏うと年齢を忘れず、気持ちも昂ぶります！

ただ今会員募集中です。

ぜひ私達と一緒にハワイ気分を味わい、癒しの時間を過ごしませんか？

見学はいつでもwelcomeです。

前向きな貴女をお待ちしております！

(文・フラの会会長 吉野純子)

議員のこぼれ話

旅立ちへ

新たな挑戦へ一人ひとりが一歩ずつだが蜘蛛の子を散らすが如く別天の地へと飛び出す若者たちは、小さな希望と小さな夢を心に秘め、不安抱えて進んでいく佐呂間の子。

世の常は幾つになっても見極める術もなく非常な現実と失望の連続だが、垣間見える至福を求め努力を怠らず諦めることなく立ち向かえ、屈折の経験をする事があるうが恐れるな、君の人生に大いなる財産となる。

“添える言葉は、今度も乗り越えてみせるぞ、朝の来ない夜はないのだから。”

(文学作家・吉川英治語録)

君にも見えるよ次の道が、諦めずそこに道があるのだから。



加賀屋 修

編	集
議 会 廣 報	特 別 委 員 会
委 委 委 副 委 員 長	委 員 長
員 員 員 員	委 員
山 土 小 三 佐	内 田 松 田 藤
一 弘 剛 正 義 昭	弘 剛 義 昭